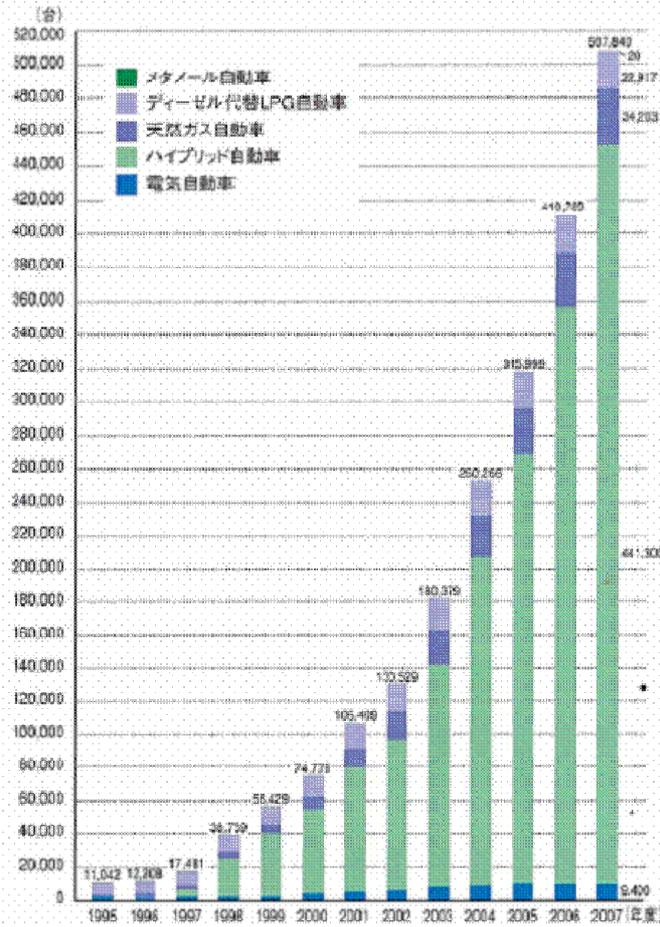


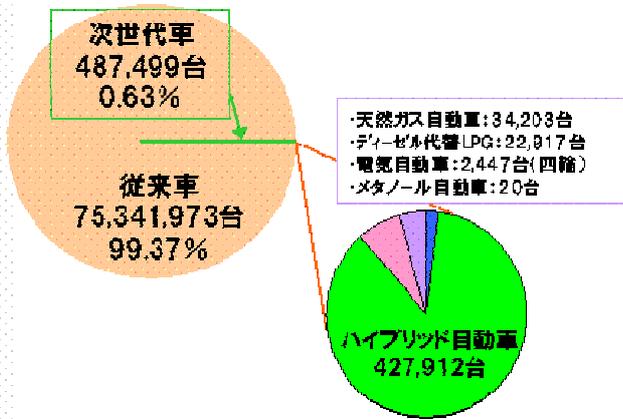
ハイブリッド車等の保有台数及び今後の見込み

1. ハイブリッド車等の保有台数



総保有台数はこの5年間
7600万台前後で推移

2007年度自動車保有台数と
次世代自動車内訳(二輪含まず)



- ・天然ガス自動車: 34,203台
- ・ディーゼル代替LPG: 22,917台
- ・電気自動車: 2,447台(四輪)
- ・メタノール自動車: 20台

出典 同工会データ

2. 今後の見込み

ハイブリッド車や電気自動車は、低公害車の普及支援策や新車販売効果等により登録台数が増加しており、今後更に増加していくことが見込まれています。

また、麻生総理の記者会見(平成21年6月10日)では、「新車の2台に1台はハイブリッド車などのエコカーにする」旨述べられています。

※ 平成21年6月10日に定められた地球温暖化対策の中期目標(05年比▲15%)の前提となった試算では、ハイブリッド車、電気自動車等の次世代自動車を新車販売の50%、保有台数の20%まで普及させることが必要との試算が示されている。



(地球温暖化問題に関する懇談会で使用された資料を抜粋・加工)

○電動車両の販売見込み、販売計画又は開発計画（公表されている内容）

メーカー	電気自動車	ハイブリッド車	プラグインハイブリッド車	燃料電池車
ホンダ	電動二輪を2010年末頃を目処に投入。	2009年新型インサイト販売、2010年中にスポーツタイプハイブリッドを投入。今後は中・大型への適用も視野に。		2008年11月FCXクラリティを小規模販売開始。
トヨタ	97～09年に市場投入。12年までに米国投入予定	97に発売開始。10年代の早い時期に世界で年間販売100万台を達成するべく、世界で10車種程度投入し、20年代に全車種にハイブリッドモデル設定を目標。	09年末よりグローバルで合計500台程度を順次投入。09年末以降、官公庁、自治体、法人などの特定利用者を中心に約200台のPHVをリリースする。	02年よりリース販売開始。05年に型式認証を取得。
三菱	2009年7月下旬より市場投入。 *09年度：1,400台 *10年度：5,000台（予定）		2013年までに投入したい。	
日産	2010年度に日米においてEVを投入、2012年度にはグローバルにEVを重販予定。	2007年に「アルティマハイブリッド」を北米で発売。日産独自のシステムを搭載したハイブリッド車を開発。2010年度を目標に日米で販売予定。2006年より「アトラス・ハイブリッド」を発売中。		新型FCVを2010年代の早い時期に販売する予定。
富士重工	2009年度にプラグインステラを170台程度を販売。			
マツダ		2010年代初頭の市場導入を目指し、開発を進めている。		
三菱ふそう		2009年小型トラック キャンタエコハイブリッドを改良し販売（目標台数600台/年）、2007年大型路線バス エアロスターエコハイブリッド販売（目標台数60台/年）。		
日産ディーゼル		将来に向け中・大型HEVの導入可能性検討中。		
日野		ハイブリッド車の普及拡大を目指す ・ハイブリッドバスの拡販 ・革新型小型HVトラックの開発	次世代低公害車開発・実用化促進プロジェクトにて非接触給電ハイブリッドバスの開発を推進。	
いすゞ		2005年小型トラックいすゞエルフHEVを発売し、2009年5月に改良型の09モデルを発売した。	燃費向上の手段として検討している。	
ヤマハ発動機	将来に向け検討中。			

*上記は2009年6月24日現在の状況であり、今後変更の可能性もあります。

○ハイブリッド乗用車の登録乗用車に占める割合（新車販売台数）

	ハイブリッド乗用車	登録乗用車総台数	割合
2005年(暦年)	60,320	3,361,341	1.8%
2006年(暦年)	80,215	3,134,134	2.6%
2007年(暦年)	85,447	2,953,193	2.9%
2008年(暦年)	108,391	2,800,664	3.9%
2009年(1-5月)	65,219	940,580	6.9%
2009年1月	7,001	153,950	4.5%
2009年2月	10,460	194,236	5.4%
2009年3月	11,089	286,311	3.9%
2009年4月	15,068	146,478	10.3%
2009年5月	21,601	159,605	13.5%
2009年1-5月	65,219	940,580	6.9%

* 自販連の統計データを基に自工会作成